

関東東北地区看護歴史研究会
平成27年度 第1回講演会

看護婦の労働環境改善の歴史を探る

日時：平成27年10月31日(土)13:00-15:30

場所：日本赤十字看護大学 205 教室
東京都渋谷区広尾 4-1-3
参加費：¥1,000

開催趣旨：

平成26年に医療従事者の雇用の質向上を目的として医療法が改正されました。医療法は医療提供体制の在り方を定めたものですが、その中に労働政策の要素が入ったことは画期的なことだと思います。それだけ、現代の医療従事者の労働環境が厳しい状況にあるということが伺えます。中島氏は勤務医の過重労働の実態から医療崩壊という言葉がすでに忘れ去られているように感じる、医療現場の過重労働は一向に改善されていない(中島恒夫:2015年5月22日 m3オピニオン)、と述べています。「雇用の質向上」には、看護職者自身の労働環境を改善する姿勢が重要であると考えます。今回は、現代以上に労働環境が厳しかった時代にどのように看護婦が労働環境の改善に向き合ってきたのかを振り返り、看護職者の働き方を考えていきたいと思います。

講演概要

1. 「人間宣言—1人の看護師の闘いと葛藤の軌跡」

川嶋みどり先生(日本赤十字看護大学名誉教授、日本看護歴史学会理事長)

2. 「医療労働運動の軌跡と1960年代がもつ意味」

岡野孝信先生(千葉大学大学院博士課程)

3. ヴァイマル期ドイツにおける看護師の労働(仮)

山岸智弘先生(同志社大学大学院博士課程)

参加申し込み・お問い合わせ
東京慈恵会医科大学医学部看護学科
東京都調布市国領町 8-3-1 田中幸子
TEL:03-3480-1151 内線 2810 FAX:03-3488-7452
E-mail: satanaka@jikei.ac.jp